



柴田 幸典 先生

SHIBATA YUKINORI

中・高等学校 [茨木]  
2004年4月1日～現在

追手門学院中・高に勤務して19年目、私は43歳になり、2人の息子のパパになりました。19年前がつい最近のことように感じますが、体は着実に年齢を重ね、傷んできている今日この頃です。今は高校2年生の担任を持ち、授業では高3、中1、高2を担当しています。今、学校は様々な面で変革の時期を迎えています。授業でいえば、パソコンを使った授業は当たり前、googleを駆使して授業を展開、さらには一斉授業からの脱却、数年前とはえらい違いです。こんな時代だからこそ自分の軸というものをしっかり持っていなければならないと強く思いますし、それを生徒に伝えていきたいと考えています。生徒たちの成長も見守れるこの職業はとても刺激的で、充実しています。そして、成長された卒業生の皆さんに会えることは教員としてとても幸せを感じる瞬間でもあります。是非学校に顔を出してください。心よりお待ちしております。



平田 勝一 先生

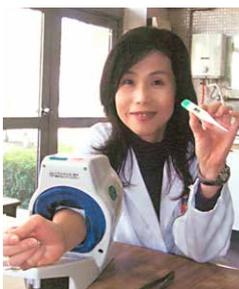
HIRATA KATSUICHI

中・高等学校 [茨木]  
1973年4月1日～2011年3月31日

多くの方々に支えていただきながら、約40年間勤めた追手門学院中・高等学校を、平成23年3月に去り、自宅と学校との往復の毎日から、家庭・地元中心の新しい生活が始まりました。人との関わりを大切に、今まで知らなかったことを覚えていこうという日々を過ごしていたところ、知人に誘われて、老人会のグランドゴルフ部に入会しました。毎週3日、朝9時から11時頃まで雨天でない限り近くの河川敷で、健康保持増進を目指しながら楽しくプレーしています。

また、自治会の役員を4年間務めたあとに、老人会の役を頼まれて、のんびりできない毎日です。しかし、体力の低下を実感する年齢となり、グランドゴルフの運動量が丁度いいようになってきました。日々の行動目標を設定し、充実した一日を過ごせるように心掛けています。

自宅の近くには、江戸時代の面影を残す寺内町があり、多くの観光客が訪れています。機会があれば、ぜひお越しください。お会いして懐かしい思い出を語り合いたいと思います。



大西 幸栄 先生

ONISHI SACHIE

中・高等学校 [茨木]  
1980年4月1日～2019年3月31日

私は、2019年3月安威の校舎と共に追手門学院を退職致しました。

2018年6月18日午前7時58分大阪府北摂地震により安威の管理棟の校舎2・3階はダメージを受けて使用できなくなり、校舎の倒壊も心配され、保健室も利用できなくなりました。

2019年4月からは総持寺のキャンパスの移転も決まっていたのですが、長年過ごした校舎での思い出等に浸る日にちもままならず校舎の解体が迫る中、2018年7月28日に校舎惜別の会が企画されて、当日各期から多くの卒業生にお会いする事が出来ました。

保健室に戻ると、壁や窓ガラスに卒業生からのメッセージがありびっくりです。追手門最高・追手門大好き・保健室ありがとうなど多くのメッセージが書いてありました。そのメッセージを見て、嬉しかった。そして、この学校に勤め皆さんに出会い、過ごせた事が幸せで感謝の思いで一杯です。追手門学院で皆さんと知り合えて過ごせた時間は最高でした。

ありがとう！ 皆さん お元気で過ごしてください。

誌面の都合で全文の掲載ができておりません事をお詫び申し上げます。  
以下のリンクから山桜会ホームページにアクセス頂き、ぜひ全文をご覧ください。

<https://yamazakurakai.com/archives/category/column/topics/teacher-new>



## 訃報



追手門学院中・高等学校 [茨木] 元教諭 藺村榮子先生が2021年10月16日にご逝去されました。

藺村先生は、長年にわたり、多くの生徒を育て教育に努めてこられるとともに、山桜会の活動にも深くご理解ご協力をいただき、いろんな行事にもご参加いただきました。在りし日を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。

